兼任教員情報公開用（最近５年間の主な業績等）

2020 年

氏　名	申　惠丰	担当科目	国際人権法

学　　位	
1995 年 11 月	法学博士 東京大学

主　な　学　歴	
年　　月	事　　項
1988年3月	青山学院大学法学部公法学科 卒業
1990年3月	東京大学大学院法学政治学研究科修士課程 修了
1990年4月	東京大学大学院法学政治学研究科博士課程 入学（1991年7月　　休学）
1991年9月	国際高等研究所（スイス・ジュネーブ）修士課程 入学
1993年7月	国際高等研究所（スイス・ジュネーブ）修士課程 修了
1995年11月	東京大学大学院法学政治学研究科博士課程 修了

主　な　職　歴・経　歴	
年　　月	事　　項
1995年4月	日本学術振興会特別研究員（～1996 年 3 月）
1996年4月	青山学院大学法学部 専任講師（～1997 年 3 月）
1997年4月	青山学院大学法学部 助教授（～2007 年 3 月）
2007年4月	青山学院大学法学部 教授（～現在に至る）
2017年4月	パリ第二大学（パンテオン＝アサス）人権人道法研究センター招聘研究員（～2018年3 月）
2020年4月	青山学院大学法学部長

最近５年間の主な業績等	
年　　月	事　　項
	【所属学会】
	世界法学会（理事）/国際人権法学会（理事）/アジア国際法学会
	【社会活動】
2015年9月	日本弁護士連合会シンポジウム「活用しよう！社会権規約―日本政府報告書審査総括所見をふまえて」基調講演［社会権規約の意義と委員会の総括所見―国内におけるフォローアップの重要性」
2015年9月	衆議院院内集会「STOP HATE SPEECH!―今こそ人種差別撤廃基本法の実現を」講演「国際人権法から見た人種差別撤廃基本法の必要性」
2015年 10月	法務省入国管理局関係職員人権研修「国際人権規範の遵守と入管業務―外国人の人権・女性の人権を中心に」
	第 28 回人権啓発東京講座講演「国際男女平等ランキングで日本はなぜ 105 位なのか―女性差別撤廃条約と日本の課題」
2015年 10月	"International Human Rights Norms and Process", Lecture at the Seoul National University, Human Rights Centre, Winter Course " Human Rights and Asia 2016"
	【著書】
2016年1月	『国際人権法―国際基準のダイナミズムと国内法との協調［第 2 版］』（信山社）（単著）
	【論文】
2014 年	"Assessing Adequacy of Measures for the Realization of Social Rights without Discrimination : Contributions of the Jurisprudence of the European Committee of Social Rights", Ch.Mestre,C. Sachs-Durand et M.Storck (dir.),Le travail humain au cassefour du droit et de la sociologie (Presses universitaires de Strasbourg)
2014 年	「人権保障のための積極的義務としての手続的義務―人権侵害に対する実効的な調査義務をめぐる法理の展

2016 年 2018 年	開」(国際法外交雑誌 112 巻 4 号) 「生活保護老齢加算制度の一律廃止の合法性ー社会権規約に照らして」（国際人権 27 号） "Legal Responses to Racial Hate Speech in Japan", Droits fondamentaux, February 2018, https://droits-fondamentaux.u-paris2.fr/fr/legal-responses-racial-hate-speech-japan-0
（参考：外部リンク）プロフィールＵＲＬ	
	http://raweb1.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kyoinId=ymiigyyiggy